

教育支援だよりは、先生方と支援教育に関する「こんなこと良かった!」「役に立った!」といった情報共有を目的に発行しています。瀬谷養護学校の取り組みを多くの方に知ってもらうためのおたよりです。

～まっちゃんの今月のつばやき～ 「教材・教具をつくる時」

「この力を伸ばしたいのだけれど、どんな教材がいいのかな？」

「やる気になってくれる教材をつくりたい…」

子どもたちを目の前にして、いつも悩んでいます。

興味を持ってくれるかな…と、ドキドキして提示した教材に全く関心をもってくれなかった時は凹みますね。何がいけなかったんだろう…と。で、振り返ります。

教材づくりのポイントは「**その子の実態に合ったものであること**」

でも、その実態とは???

① アセスメントの結果から推測する

様々なアセスメントの方法がありますが、認知面や操作面での得意不得意を知ること、教材選択の範囲が、ある程度特定できます。

(ちなみに本校の教材教具展示室は「太田ステージ」のステージ別に教材教具が整理されており、その子のステージに合ったものを選択できるように工夫されています。)

② 日々の行動観察やご家庭の情報から推測する

「好きなもの、好きなこと」「集中できること、できる時間、できる環境」

- ・ひとつの教材をじっくり? 次々と変えていく? ・午前中より午後がよい?
- ・見やすい角度、色、姿勢は? ・ひとりで取り組む? みんなと取り組む?
- ・持ちやすさは? (素材の感触、長さ太さ) 等々

毎時間、試行錯誤を繰り返す中で、実は子どもと共に、教える方も成長させてもらっている
のでした。 (教育支援チーム)

教材教具展示室の紹介

瀬谷養護学校では太田ステージのステージに合わせて教材展示室の教材をステージごとに、操作・認知・コミュニケーションの3つに分類をしています。

太田ステージのアセスメントである LDT-R の結果をもとに、該当ステージを参考にして学習を選択していきます。



教材教具展示室



教材教具展示室見学会・相談会の様子



例・ステージIVの棚



具体物の操作を
伴った学習

ステージの学習
内容に合わせた
プリント



教材教具展示室は瀬谷養護学校の管理棟に常設されています。夏季・冬季の教材教具展・相談会の他に随時教材教具展示室の見学と教材教具についての相談（教員向け）を承っております。

下記電話番号にお申し込みください。

教材教具展示室見学・相談 045-302-5374（連携支援室直通）

また瀬谷養護学校教材教具集はホームページより閲覧できます。

